

歴史的環境による町並みと地場産業の営みの両立に関する研究 —群馬県桐生市桐生新町を事例に—

Research on the compatibility between townscapes based on historical environments and local industry operations

-Using Kiryu Shinmachi, Kiryu City, Gunma Prefecture as a case study-

発表者 高木晋太郎

指導教員 山本薫子

東京都立大学大学院都市環境科学研究科都市政策科学域

キーワード：重要伝統的建造物群保存地区、地場産業、鋸屋根工場、桐生

第1章 研究背景と目的

1-1 研究背景と目的

日本国内の地区単位での歴史的環境の保存は1975年の重要伝統的建造物群保存地区(以下、「重伝建地区」)の選定からはじまった。日本の歴史的環境を取り巻く政策はそれらの環境を残すことに重点を置いている。しかし、歴史的環境と人間の営みの相互作用こそが地域固有の風土を生み出す。そのため本研究は都市空間の「変容」に着目し、地場産業の営みと歴史的環境の保存の両立を成立させるための仕組みを明らかにする。

1-2 研究の対象地の選定

本研究は①重伝建地区に指定され、②都市の発展と地場産業の結びつきが強く、③歴史的

資源が重伝建地区周辺に多く分布する桐生市桐生本町を対象とする。

2章 対象地における都市構造の変遷

桐生市は群馬県の東側に位置する。桐生川を産業用水として利用できたことや江戸幕府の

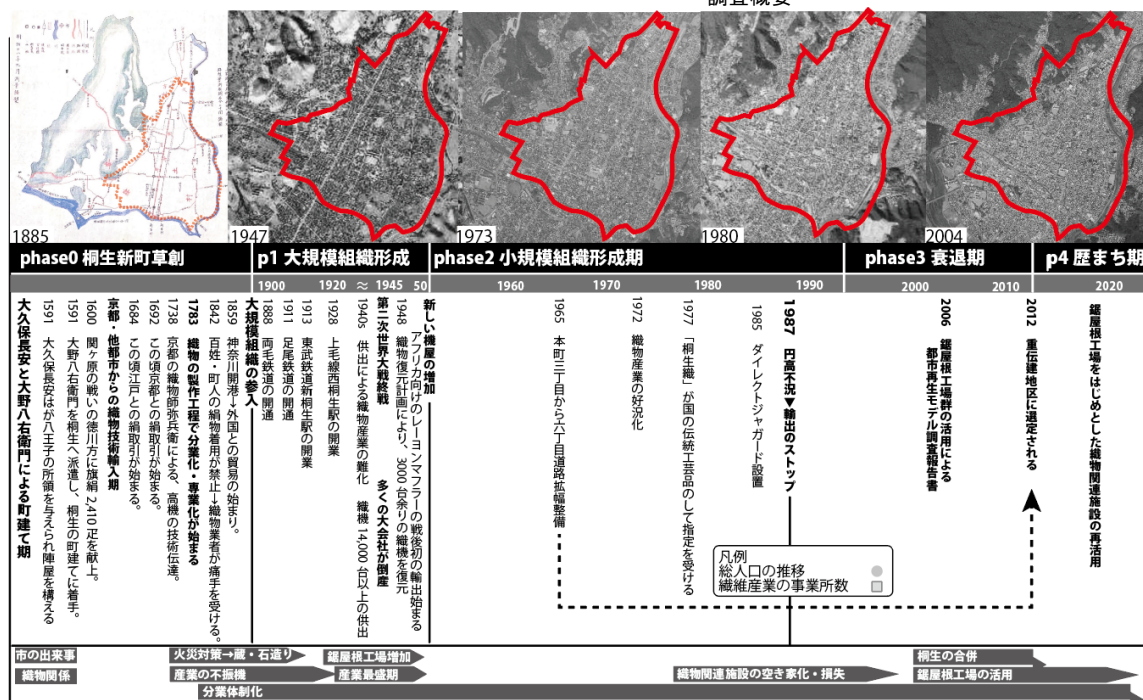


桐生市の位置¹⁾

調査対象	重伝建地区に所有または借地・借家権を持つ個人・企業
調査期間	8月5日～9月26日
調査方法	対面ヒアリング調査
調査項目	ライフヒストリー、建物の変遷、建物の活用実態、立地について等

調査概要

天領となったことなどもあり、近代以前から織物業は発展した。近代以降、生産組織の柔軟性や分業方式、新技術の導入に熱心であったことから織物業で発展した。



桐生における都市変遷の年表

3 章 歴史的環境の保存と営みの実態

インタビュー調査で得られた住民・建物管理者・所有者から重伝建地区と重点区域におけるメリットとデメリット、住民・建物管理者・所有者が町並みと自身の営みを両立するための行為を以下にまとめた。

参考文献

	メリット	デメリット
重伝建地区内	建物に魅了された ・建物に魅了されて創業した ・観光客から注目を浴びやすい	建物の修理・修景の負担が大きい【建物単体に関わる問題】 ・空調機が景観に影響するため従前のクーラーを取り除いた。 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない ・鋸屋根工場など織物関連施設が大規模建築のため、個人では負担しきれない費用がかかる ・鋸屋根工場など織物関連施設が大規模建築のため建物の空間を活用しにくい ・行政への申請と確認が必要なもので事業にスピード感がない。 ・建物の維持の面で、事業の維持の面でも後継者がいない
	税金等の控除が受けられる ・固定資産税、都市計画税が非課税または適宜免除、軽減 ・国登録有形文化財の場合、固定資産税が1/2課税 ・国登録有形文化財の場合、家屋等の相続・贈与で財産評価額30/100が控除される(相続税、贈与税) ・伝統的建造物(文科学大臣が告示)である家屋等の相続・贈与で贈与財産評価額の30/100が控除される(相続税、贈与税)	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない
	規制内での改修が可能 ・歴史的な価値の高い建物であるが、内装は改修ができ、事業にも活かせる。 ・外観に関わらなければ、改修可能 ・電灯などの一時的な景観変更をもたらすものならば許可がでた	合意形成が取りづらい ・伝建地区指定以前からの住民たちの発言力が強い。 ・地域との接点が多くなり、結果的に自身の事業以外の負担が増える ・町並み継承のために、景観に関する小さな利害関係ができしてしまう
	景観に魅了された ・個人経営の店が多く魅力的 ・ファストフード店がない ・住民自らが修景したことで景観の良さに気づけた	駐車場が少ない ・道路幅幅がされなかったため、路上駐車が難しい ・事業所と駐車場が離れている場合が多く不便。商売に悪影響 ・祭りのなどのイベント時には、不正駐車が多い
重点区域	人脈の形成 ・地域の名望家と知り合い、人の繋がりから事業がはじまった ・若い人が多く参入する機運があり、人脈が構築しやすく操業がしやすかった ・人が暖かい ・紹介で事業の物件と出会ったり、駐車場が見つかった。 ・本業では関わらない人と関わり、本業にも好影響があった。	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない
	発信がされやすい ・メディアや市からも注目されて話題になりやすい ・伝建地区内の住民・事業者同士で紹介し合う ・本業では関わらない人と関わり、本業にも好影響があった。	合意形成が取りづらい ・伝建地区指定以前からの住民たちの発言力が強い。 ・地域との接点が多くなり、結果的に自身の事業以外の負担が増える ・町並み継承のために、景観に関する小さな利害関係ができしてしまう
	文化財でなければ改修ができる ・歴史的な価値の高い建物であるが、改修ができ、事業にも活かせる。 ・本業では関わらない人と関わり、本業にも好影響があった。 ・制約が少なくストレスがない ・外観の改修ができる ・看板を設置できる	発信がされにくい ・市が発行する観光パンフレットで紹介されない ・近隣に住むだけなので「伝建地区内の住民である」と言えない
	改修に関わる事項 ・大学の学舎、重要文化財、伝建地区の周辺に位置するので創業した ・群馬大学と連携し、電気バスの事業ができた	発信がされにくい ・市が発行する観光パンフレットで紹介されない ・近隣に住むだけなので「伝建地区内の住民である」と言えない
	人々のつながり・人脈に関わる事項 - 指定・登録の負担が少ない ・複数の指定を受けているものの、規制が重伝建地区ほどではないので不満に感じていない ・国登録有形文化財に登録されたことで税金の控除が受けられた ・行政からの利用がしやすい補助手当はないものの、代わり助成団体を探索役割を行政が担っている。	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない
	人々のつながり・人脈に関わる事項 - 指定・登録の負担が大きい ・国登録有形文化財の場合、外観や文化観光に公開範囲のみが補助対象となる ・所有者と行政の間で指定・登録の議論が行われ、貴業者の意見が反映されず ・所有者にとって建物を維持するための経済的な負担が大きい ・歴史的風致形成建造物、近代化産業遺産の場合、文化観光に貢献する歴史的風致工場には行政からの支援があるが、所有者や管理者の営みに対する支援が充実にない	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない
	行政のサポートが少ない ・「重伝建地区内」ではないので同地区ほとの支援体制がない ・市から歴史的風致形成建造物の指定を受けたが、役割が明確でなく何をすればいいのかわかりにくい ・補助金等の申請としても、使うまでに時間がかかり、申請に至らない	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない
	大学・駅・文化財に囲まれた立地 ・歴史的な価値の高い建物であるが、改修ができ、事業にも活かせる。 ・伝建地区の周辺にあることから落ちついた雰囲気がある。 ・駅前の商業施設にも近く、伝建地区の歴史っぽさもあるので双方のよき取り入れられる ・群馬大学、重要文化財、伝建地区の周辺に位置するので創業した ・群馬大学と連携し、電気バスの事業ができた	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない
	店舗が見つかりづらい ・市が発行する観光パンフレットで紹介されない ・近隣に住むだけなので「伝建地区内の住民である」と言えない ・SNSで発信して来てくれる人がほとんど	町並み維持のための負担が大きい【複数の建物に関わる問題】 ・暮らしと町並み維持の困難さから後継者を探している ・電柱の地中化、道路の石畳化の工事が交通の面で不便 ・通りにから駐車場の車が見えてはいけいないので、工事が必要 ・地区内住民から行政へ建物と土地の寄付があったが、活用方法が見出されていない

重伝建地区と重点区域のデメリット・メリット

まちづくりとの接点（ハードの整備）

生活と町並み継承の両立

- ・敷地内の腐食した建物や工作物を取り壊したいが文化財のため放置している **重文**
- ・町並みにそぐわない屋根を取り除いた **重文**
- ・町並み景観に影響するため従前の空調機を取り除いた **重**

事業と町並み継承の両立

- ・鋸屋根工場が広く、冷暖房の効きが悪いため、ビニールで部屋を覆っている **文**
- ・雨漏りを修繕したいが、工期も費用もかかる。そのため、テナントに鋸屋根工場を貸せず所有のみしている **重** **重文**
- ・外観はあまりいじれないので内装のみの改修で事業を実現した。
- ・歴史的に価値のある瓦を保存している **重文**

まちづくりとの接点（ソフトの整備）

住民等による取り組み

- ・自治防災会を組織して、市が行う防災対策事業に協力 **重**
- ・案内マップと現地案内板を設置 **重**
- ・保存修理に係る技術者育成のために、技術研修会を実施 **重**
- ・毎月第一土曜日に骨董市を開催 **重**
- ・毎月第一土曜日に空家を活用したマルシェを開催 **重**
- ・天満宮を利用した冠婚葬祭を行う **認**
- ・月に一度、桐生案内人の会でまち歩きの実施 **重** **準** **認**

協議への参加

- ・本町一丁目・二丁目の情報交換会に参加する / 主催する。
- ・電柱の地中化を取り行うために、使用する電気会社を合わせるなど合意形成をはかった **重文**
- ・街灯設置の際に、行政とテストを繰り返しながら検討した **重**
- ・町並み交流館に毎週土曜日滞在し住民の相談を受ける（桐生市）

人脈の形成

顧客の獲得

- ・顧客を紹介する **重** **準** **文** **認**
- ・近隣同士でお店を紹介し合う **重**
- ・本業では関わらない人と関わり、本業にも好影響があった。 **重文** **認**
- ・他社のパンフレット等を店頭に置く **重** **準** **文** **認**

事業の協力者の獲得

- ・友人のついでで創業する物件と出会った **重**
- ・群馬大学の学生と事業を行った **重**
- ・服のデザイナーと友人のついでで知り合い、デザイナーの服を販売している **認**

凡例

行為のグルーピング

行為の要素

グルーピングされた行為に関する語りの例

重 重伝件地区	文 文化財
準 準指定文化財	認 認定外文化財

住民・建物管理者・所有者による町並みと自身の営みを両立するための行為